

一般質問



6月会議では1人の議員から2件の質問がありました。

【一般質問】町の色々な課題等について、議員が町長等に対して質問や提案をすることです。



平沼 昌平議員

町の高齢化率も50%を超え、在宅や施設での介護サービスの需要はこれまで以上に高まり、老々介護の実情、独居老人の増加と厳しい介護実態があります。

一方で働き世代の町外流出が大きな課題となっており、**函館市や札幌市でさえ人口の減少を阻止する事が厳しくなっています。**

人口減少という国家的な課題に、一自治体がどこまであらがう事が出来るのか。政府が処方箋を見いだせない中、当町のこれからの人口減少を考える時、地域間での「人口の奪い合い」もしょうがないとも感じますが、当町としても人口減少に対する対応を再度検証し再考する時とも考えます。

あらゆる面から**町民と行政と議会とが一丸となつて知恵を出して知識を働かせていかななくてはならないと感じますが、今後の施策について伺います。**

動画は
こちら



行財政

問

今後の人口減少対策は

答

子育て環境の充実により
減少スピードを鈍化させる

鳴海町長

就任以来、子どもたちは地域の宝であるとの基本的な考えの下、**地域全体で子育てを支える予算に重点を置いた施策を展開してきました。**

「福島町ふるさと暮らし応援条例」を制定し、高校生までの医療費無料化や出産祝金の交付等、様々な定住・少子化対策に取り組み、以後、保育料や学校給食費を無料化するなど、子育て支援に関する制度を高めてきました。

日本全体が人口減少社会に突入した中で、それぞれの地域においてできることには限界がありますが、**生み育てやすい環境や定住促進に重点を置いた政策を講じることで、人口減少のスピードを緩やかにすることは可能だと考えています。**

福島商業高校の魅力化を進める中で、令和5年度は4名、令和6年度は22名が他の地域から移住しています。

移住者の受け入れや若者が地域に定着することで、人口減少スピードの鈍化が図られるものと考えています。

※平沼議員からは、「三市町交流事業について」も質問がありました。

動画は
こちら

